

## 2022年度 ESG債 発行概要

項目	概要
社債の名称	東急株式会社第13回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (サステナビリティボンド)
年限	5年債
社債総額	100億円
発行体格付	A+ (R&I) / AA- (JCR)
募集期間	2022/12/1~12/14
払込日	2022/12/15
償還日	2027/12/15
利率	0.49%

※当社が過去に発行したサステナビリティボンドの資金充当及びインパクトレポートに関して、公表した内容より状況の変化はございません。  
過去に公表したサステナビリティボンドの概要・レポートは[こちら](#)をご覧ください。

## 資金充当状況（2023年3月末時点）

2023年3月末時点で、調達資金の全額を充当しております。

金額（億円）

<b>サステナビリティ・ボンド調達額</b>	<b>100</b>	
2022年度充当額	100	
新規ファイナンス	0	0%
リファイナンス（※）	100	100%
未充当残高	0	

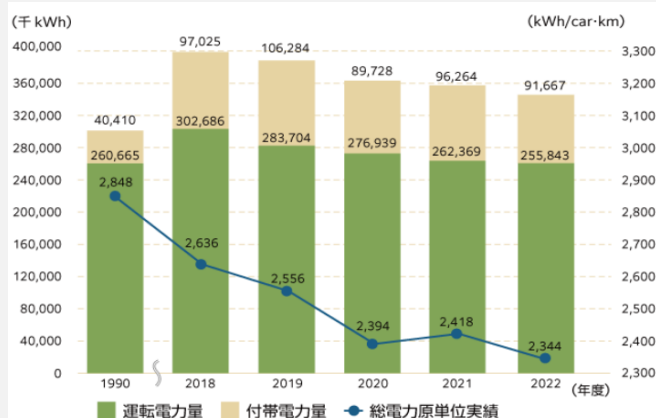
※サステナビリティボンドの発行時点から過去2年以内に開始、または、環境性能が確認された事業に充当しております。

適格事業	(億円)			(%)	適格プロジェクト
	充当額 (A)	未充当額 (B)	充当予定額 (C = A + B)	サステナビリティボンド による充当割合	
<b>I. 鉄道事業</b>	<b>50</b>	<b>0</b>	<b>50</b>	<b>100</b>	—
クリーンな輸送	30.0	0	30.0	100	新型車両の導入、駅構内照明のLED化
気候変動対応	10.0	0	10.0	100	法面補強による土砂災害対策
安全・安心のための鉄道インフラ	10.0	0	10.0	100	バリアフリー設備対応車両の整備
<b>II. まちづくり事業</b>	<b>50</b>	<b>0</b>	<b>50</b>	<b>100</b>	—
サステナビリティ・ビルディング	45.0	0	40.0	100	歌舞伎町一丁目地区開発計画 (東急歌舞伎町タワー)
nexus構想	0.5	0	0.5	100	nexusチャレンジパーク早野を含む その他nexus構想に基づくコモنزの構築
サテライトシェアオフィス	4.5	0	4.5	100	会員制サテライトシェアオフィス事業「NewWork」の 当社直営店の開発・整備
<b>合計</b>	<b>100</b>	<b>0</b>	<b>200</b>	<b>100</b>	—

## I 鉄道事業 クリーンな輸送

本社債の適格プロジェクトによる環境・社会への効果は以下のとおりです。詳細は東急電鉄(株)の[設備投資計画](#)をご覧ください。

適格プロジェクト	アウトプット	アウトカム	インパクト
<b>クリーンな輸送</b>   	<b>新型車両2020系 1編成 (10両) の導入</b> 	<b>使用電力約50%減 (旧型車両8500系と比較)</b> 田園都市線に環境性能が大幅に向上した新型車両「2020系」を順次導入しています。今般の1編成の導入により、旧型車両(8500系)との置き換えが完了しました。	<b>脱炭素社会への貢献</b>
	<b>駅構内照明のLED化 7駅への導入</b>  ▲LED化した蒲田駅ホーム照明	<b>使用電力約30%減 (旧照明設備と比較)</b> 脱炭素・循環型社会の実現に貢献するための取り組みとして、駅構内照明のLED化を推進しています。2022年度は蒲田駅など7駅に導入しました。(2023年度は三軒茶屋駅など5駅に導入予定)	








▲東急電鉄(株)における電力量および総電力原単位の推移

鉄道事業 年間消費電力	2020年度	2021年度	2022年度
鉄道事業合計	366,667 千kWh	358,633 千kWh	347,510千kWh
運転電力量	276,939 千kWh	262,369 千kWh	255,843千kWh
付帯電力量	89,728 千kWh	96,264 千kWh	91,667千kWh

## I 鉄道事業 気候変動対応 / 安心・安全のための鉄道関連インフラ

本社債の適格プロジェクトによる環境・社会への効果は以下のとおりです。

適格プロジェクト	アウトプット	アウトカム	インパクト
<p style="text-align: center;">気候変動対応</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="background-color: #ff9800; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="font-weight: bold; font-size: 18pt;">11</p> <p style="font-size: 8pt;">住み続けられるまちづくりを</p>  </div> <div style="background-color: #4caf50; padding: 5px;"> <p style="font-weight: bold; font-size: 18pt;">13</p> <p style="font-size: 8pt;">気候変動に具体的な対策を</p>  </div> </div>	<p style="text-align: center;">法面補強による土砂災害対策</p> <p style="text-align: center;">田園都市線 宮崎台～宮前平間 大井町線 等々力～上野毛間</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">  <span style="font-size: 24pt; margin: 0 10px;">➔</span>  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span style="font-size: 8pt;">対策前</span> <span style="font-size: 8pt;">対策後</span> </div>	<p>大雨時、土砂が線路内に流入しないように、線路脇の斜面をコンクリートなどで補強する対策により、土砂災害の抑制・安定輸送の確保を図っています。 詳細は東急電鉄(株)の<a href="#">安全報告書</a>をご覧ください。</p>	<p style="font-size: 14pt;">気候変動に適応した社会の実現</p>
<p style="text-align: center;">安心・安全のための鉄道関連インフラ</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="background-color: #ff9800; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="font-weight: bold; font-size: 18pt;">9</p> <p style="font-size: 8pt;">産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> <div style="background-color: #ff9800; padding: 5px;"> <p style="font-weight: bold; font-size: 18pt;">11</p> <p style="font-size: 8pt;">住み続けられるまちづくりを</p>  </div> </div>	<p style="text-align: center;">バリアフリー設備対応車両の割合</p> <p style="text-align: center; font-size: 24pt; font-weight: bold;">100%</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span style="font-size: 8pt;">▲フリースペース</span> <span style="font-size: 8pt;">▲低めの吊り手・荷棚</span> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">※新規導入車両を対象</p>	<p>高齢者や子育て世代をはじめ、全てのお客さまに安心してご利用いただくことを目指し、バリアフリーの強化、ユニバーサルなサービスの利便性向上を図っています。 詳細は東急電鉄(株)の<a href="#">バリアフリーへの取り組み</a>をご覧ください。</p> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年の鉄道輸送人員:約9億8,888万人</li> <li>・沿線住民の高齢者(65歳以上):約116万人</li> </ul> <p style="font-size: 8pt;">※沿線住民の定義:2022年1月1日時点 沿線17市区 出所:総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(日本人のみ)」</p>	<p style="font-size: 14pt;">日本で最も安全で 利用しやすい 公共交通サービスの実現</p>

## Ⅱ まちづくり事業 サステナビリティ・ビルディング（東急歌舞伎町タワー）

本社債の適格プロジェクトによる環境・社会への効果は以下のとおりです。東急歌舞伎町タワーの概要は[こちら](#)をご確認ください。

### ■ 適格プロジェクトの概要

東急歌舞伎町タワーは、多様な文化を発信する映画館・劇場・ライブホールなどのエンターテインメント施設、アートや音楽といった街の文化を織り込んだホテルなどからなる高層複合施設の整備とともに、公共空間との一体的利用・エリアマネジメント活動を通したにぎわい創出等を行う、当社グループが一丸となって推進する再開発プロジェクトです。複数の感染症対策を施設全体で実施し、2021年10月には国土交通省より、「新しい日常に向けた対策を誘導する」ことなどを盛り込んだ新宿駅周辺地域の新しい地域整備方針に基づく民間都市再生事業計画として、初の認定を受けました。






▲東急歌舞伎町タワー外観



▲Zepp Shinjuku (TOKYO)



▲新宿歌舞伎hall～歌舞伎横丁

適格プロジェクト	アウトプット	アウトカム	インパクト
<p><b>グリーンビルディング</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都建築物環境計画書制度における評価段階 3</li> </ul>	<p>東京都建築物環境計画書制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PAL低減率 ⇒ 22.45% (建築物外皮の熱負荷抑制)</li> <li>・ERR値 ⇒ 27.95% (設備システムの高効率化)</li> </ul>	<p>脱炭素社会への貢献</p>
<p><b>防災対策</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シアター、ライブホール等での帰宅困難者の一時滞在受入れ</li> <li>・防災備蓄倉庫の設置</li> <li>・屋外ビジョンを活用した災害関連情報の発信</li> </ul>	<p>帰宅困難者の一時滞在受入れ 屋内で最大約1,700人 備蓄品約1,700人×3日分</p>	<p>災害に強い社会の実現</p>
<p><b>感染症対策</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業フロアの自然換気窓導入</li> <li>・ホテル客室等の空調機のバイパス対応</li> <li>・高性能空気清浄機等の導入</li> <li>・チケット認証、入退室等の非接触化</li> <li>・エレベーターの定員切替制御 等</li> </ul>	<p>ホテルの客室数(538室) 映画館のスクリーン数(8) 映画館(752席) 劇場(907席、最大1,088席) ライブホールのキャパシティ(1,500人)</p>	<p>感染症対策と経済活動の両立の実現を通じた、 経済・文化的発展への貢献 社会の感染症リスクの低減への貢献</p>

## Ⅱまちづくり事業 nexus構想

本社債の適格プロジェクトによる環境・社会への効果は以下のとおりです。

### ■適格プロジェクトの概要

nexus構想は、職・住・遊・学が近接・融合した自律分散型のまちづくりを目指しています。本構想に共感していただいた企業や行政をバディ（仲間）にとらえ、多様なバディと連携し、生活者起点のサステナブルな地域ネットワークを構築します。「農と食」「資源循環」「エネルギー」「モビリティ」「ウェルネス」といったサステナブルテーマに沿った社会実証実験を行う拠点として「nexus チャレンジパーク早野」を開業。コミュニティIoT農園や焚き火エリア、イベントスペースなどの多目的利用が可能な空間をつくり、生活者起点での魅力的な街の仕掛けづくりに挑戦しています。詳細は[こちら](#)をご確認ください。

適格プロジェクト	アウトプット	アウトカム	インパクト
<p>nexus構想</p> <div style="background-color: #f44336; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>  </div> <div style="background-color: #ffc107; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> <div style="background-color: #007060; color: white; padding: 5px;"> <p>17 パートナースHIPで目標を達成しよう</p>  </div>	<p>コモンズの数 5 拠点 (連携拠点を含む)</p> <p style="color: #007060;">nexusチャレンジパーク早野</p> <p style="color: #007060; text-decoration: underline;">MINANOBA VILLAGE (ミナノバ・ビレッジ)</p> <p style="color: #007060; text-decoration: underline;">SPRAS青葉台</p> <p style="color: #007060; text-decoration: underline;">grow up commons</p> <p style="color: #007060; text-decoration: underline;">COMMON FIELD たまプラーザ</p> <p style="font-size: 0.8em;">※2022年度末時点</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>▲nexusチャレンジパーク早野</p>	<p>【nexusチャレンジパーク早野】 2022年実績</p> <p>延べ来場者数 1万人超</p> <p>イベント実施回数 (うち地域住民主催) 14回 (6回) 各イベントの様子は<a href="#">こちら</a></p> <p>意見交換実施団体 (企業・行政・学校・地域団体) 約70社・団体</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【今後の取り組み】 バディとの実証事件を通じた、社会課題・環境課題解決や、イベント実施を通して地域住民のまちづくりへの参加・地域コミュニティ創生の実現を目指します。</p> </div>	<p>共感・共助が循環する 「地域のコモンズ」の創出</p> <p>地域住民の総活動量増加</p> <p>シェアリングエコノミーの実現</p>

## Ⅱ まちづくり事業 サテライトシェアオフィス (NewWork)





本社債の資金充当による環境・社会効果は以下のとおりです。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

### ■ 適格プロジェクトの概要

「NewWork」は、当社が運営する業界最大規模の店舗数を誇る法人企業相乗り型サテライトシェアオフィスです。首都圏のみならず日本全国に店舗網を拡大しており、新しい働き方への対応、ワークライフバランスの推進、生産性の向上、通勤ストレス軽減など、より快適で働きやすい環境の実現を目指しています。

▶ 2022年度 リニューアル・オープン店舗



適格プロジェクト	アウトプット			アウトカム			インパクト		
サテライトシェアオフィス	【拠点数】			【登録者数・利用者数】			活躍できる就労環境の提供		
   	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度			
	直営店	84	103	115	登録者数	263,633		308,631	320,034
	合計	256	280	478	利用者	272,622		502,392	770,273

### お客さまの声（一部抜粋）

- ・ 通勤時間を削減して、時短ではなくフルタイムで働けることが最大のメリット。
- ・ 子供の体調がすぐれず、保育園から呼び出しが上がりそうな時、会社に行かずに、保育園にすぐ行けるNewWorkを利用でき便利。
- ・ 台風等の自然災害時に交通機関がマヒしたときに利用でき、非常に便利。

## 2022年度 ESG債 発行概要

項目	概要
社債の名称	東急株式会社第14回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (サステナビリティ・リンク・ボンド)
年限	10年債
社債総額	100億円
発行体格付	A+ (R&I) / AA- (JCR)
募集期間	2022/12/5
払込日	2022/12/6
償還日	2032/12/6
利率	0.749%

当社は、本社債のほか、サステナビリティ・リンクローンにて、2021年度～2022年度までに累計279億円を調達しました。詳細は、当社の「[統合報告書2023](#)」P60（脱炭素移行計画）をご覧ください。



## 2023年3月末時点のKPI・SPT達成状況

KPI : 当社及び連結子会社のCO<sub>2</sub>排出量（総量ベース、Scope1及びScope2）の削減率  
SPT : 2030年度までに2019年度比CO<sub>2</sub>排出量46.2%削減

	2022年度 (当期実績)
<b>当社および連結子会社のCO<sub>2</sub>排出量削減率 (2019年度実績比) (1 - A / B)</b> ※判定日：2031年12月末日	<b><u>38.0%</u></b>
(A) 2022年度CO <sub>2</sub> 排出量	383,321t-CO <sub>2</sub>
(B) 2019年度CO <sub>2</sub> 排出量	618,643t-CO <sub>2</sub>

当社の環境情報データに関する詳細は[こちら](#)をご覧ください。